

付2 購入予約者と購入契約者

橋本住宅祭における展示住宅は一八七戸であるが、購入予約者(一二七名、7月5日、11日の合販会期間中)と、購入契約者(一三四名、住宅祭終了から12月20日まで)とを市・町別に較べてみよう。

実数で増減率をみると、橋本市(11名↓17名)56%増、堺市(27名↓38名)40%増となっていて、橋本市の伸びが著しく、大坂市(20名↓13名)35%減は、意外の感が持たれる。

また、富田林市(2名↓9名)の350%増は、より現地には近い河内長野市(8↓4)の50%減と対比すると、?であるが実数でみた場合、なにぶんにも小件数であるので、この程度の変動は当然と受け止めて然るべきであろう。

以上が、当財団がこれまでに実施したアンケート方式による住宅祭来場者、住宅購入者などの属性についてのラフ・スケッチであるが、開催地の性格がそれぞれに異っているにもかかわらず、住宅需要者の属性に関しては、現時点では、共通した支配的傾向があることが、大まかに看取されよう。

住宅需要者の実態を把握するための目安の一助ともなれば幸いである。

全 体	和歌山県		大阪府									兵 庫 県	奈 良 県	京 都 府	滋 賀 県	そ の 他
	橋 本 市	橋本市以外の市・町	大 阪 市	北 部 市・町	東 部 市・町	南 部			西 南 部							
						富 田 林 市	河 内 長 野 市	左記以外の市・町	堺 市	堺市以外の市・町						
127 (100)	11 (8.7)	9 (7.1)	20 (15.7)	9 (7.1)	5 (3.9)	2 (1.6)	8 (6.3)	10 (7.9)	27 (21.3)	4 (3.1)	10 (7.9)	9 (7.1)	2 (1.6)	1 (0.8)	0	
134 (100)	17 (12.7)	3 (2.2)	13 (9.7)	12 (9.0)	5 (7.5)	9 (6.7)	5 (3.7)	8 (6.0)	38 (28.4)	5 (3.7)	8 (6.0)	4 (3.0)	3 (2.2)	1 (0.7)	3 (22)	

(いずれも当財団調)

財団ニュース

第7回理事会開催

住宅生産振興財団第7回理事会は55年11月26日財団本部で開催された。この理事会には次の議案が提出され、それぞれ承認された。

- 評議員改選及び増補選任の件
- 新会員加入の件
- 財団の運営組織に関する件
- 事業に関する現況報告

評議員の改選については、建設省における人事異動に伴い次の二氏が選任された。

- 建設省住宅局住宅生産課長 越智福夫氏
- 建設省都市局区画整理課長 依田和夫氏

また、財団の業務運営の拡大に伴ない評議員一名が次のように増補選任された。

建設省計画局宅地開発課長 清水達雄氏  
これで財団評議員は1名増員となり23名となった。

クボタハウス株式会社加入

さきに申込のあったクボタハウス株式会社の財団会員加入の件は第7回理事会で承認され昭和56年1月1日会員社となり、これで財団の会員は12社となった。